

食に関する指導の実践発表

千葉市立千城台西小学校
学校栄養職員 長嶋 智代

1 研究主題

食に関する興味・関心を高めるための取組

2 主題設定の理由

本校の学区は、一戸建て住宅、市営・県営住宅の多い住宅街である。学校の周辺には調整池やおむすび山（築山）があり、野鳥観察などの校外学習にも利用するなど、住宅街の中にもありながらも自然豊かな環境にある。学校の敷地も広く、学年園の他に全校園もあり、さつまいもの苗植えから収穫までを全児童が行っている。

本校の学校教育目標は、「豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる子どもの育成」である。「学ぶ力の育成」・「豊かな心の育成」・「健やかな体の育成」の3つを重点目標に掲げ、「豊かな心の育成」においては、生活の基本ルール（西小よい子の約束）の徹底を図り、「健やかな体の育成」においては、望ましい生活習慣の育成を目指し、生活習慣振り返りカード（元気っ子カード）を実践している。

本校の児童の多くは、給食をととても楽しみにしている。栄養士や調理員に会うと給食の献立について尋ねてきたり、教室に運ばれてくる給食を見て喜んだりする姿なども多く見られる。しかし、好きなものはおかわりをしてたくさん食べるが、苦手なものは手をつけないなど偏食傾向も見られる。

そこで、児童の給食に対する興味・関心を高めることは、食に関する姿勢の変容につながるのではないかと考え、本主題を設定し取り組んだ。

3 食に関する指導の実践について

(1) 給食時間における取組

- ・ 教室訪問、児童の実態把握
- ・ 担任との連携、配膳・食事・後片付けの指導
- ・ 食材の実物や一口メモなどの資料を用い、給食の献立を紹介
- ・ 給食委員会の児童による校内放送の実施
(今日の献立・献立のねらい・行事食・地場産物・旬の食べ物などを紹介)
- ・ 学校行事に合わせた献立作成
(入学・進級・運動会・夏休み前・千葉国体・陸上大会・球技大会・卒業)
- ・ 献立や調理の工夫



(2) ランチルームの活用

- ・ クラスごとに使用日の割り当て（各クラス連続した1週間）
- ・ フルーツバイキングの実施
- ・ 割り当て日以外でも、クラスによっては会食に使用（お誕生日会など）

(3) 掲示物の工夫

- ・ 掲示板をテーマごとに使用
〈1階〉給食だより・献立表・一口メモ・給食委員会児童作成のポスター・給食室の一日

- 〈2階〉 朝ごはんについて
- 〈3階〉 旬の食材について（季節ごとに食材のパネルを掲示）
- 〈4階〉 食事と運動について
- 〈ランチルーム〉 食事のマナー・食べ物の働き・いきいきちばっこ

(4) 給食委員会の活動

- ・配膳台の清掃・給食用物品の点検・ランチルームの清掃
- ・校内放送で、献立の紹介
- ・食に関する掲示物の作成

(5) TTによる授業実践

- ・1年生 学級活動 「やさいとなかよくなるう」
- その他、6年生家庭科の調理実習の支援



(6) 家庭・地域との連携

- ・給食だよりの発行
- ・地域のお年寄りとの交流（ふれあい交流会）
- ・親子活動への支援（5年生 太巻き寿司）
- ・学級懇談会用資料の作成
- ・生活習慣振り返りカード（元気っ子カード）の実施

(7) 学校給食地場産物導入の取組

- ・地場産物の使用
千葉市の農業や食文化等を児童に知らせ、食に関心を持たせるとともに、地域理解教育の一環とする。
- ・学校で収穫した野菜の使用
（さやえんどう・じゃがいも・ピーマン・さつまいも・さといも・だいこん・かぶ）

4 成果と課題

(1) 成果

- ・献立の工夫や使用している食材について知らせることで、食への興味や残さず食べようとする意欲が出てきた。
- ・給食時間の教室訪問を通じて繰り返し声かけをしていくことで、食事のマナーの向上や、苦手な食べ物に挑戦する児童の姿が見られた。
- ・写真などを使って掲示することで、児童が興味深く見入る光景が見られるようになった。

(2) 課題

- ・食への興味・関心を高めるためには、児童への声かけや指導の継続は重要である。食に関する姿勢の変容につなげるためにも、今後も献立や指導内容を工夫し、さらには望ましい生活習慣の育成に結びつけていきたい。
- ・食に関する指導を継続し深めていくためには、家庭との連携が必要である。これからは、家庭への情報発信の仕方を工夫し、実践していきたい。